

科 目 名
建築設計Ⅱ Architectural Design Ⅱ

3年 前期 3単位 選択

内丸 恵一・西山 英夫
藤本 睦夫

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：2-(3), 2-(4), 2-(5), 3-(1), 4
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
C	—	建築総合コース	選択	67.5時間
	C 1	建築計画コース	必修（Aコース）	
	—	建築構造コース	選択	

【概 要】

本科目では、学生各人の将来的に志望する分野や建築の指向性の違いに応じて、以下の二つのコースに分けて指導する。

- Aコース：高度な設計能力を修得するコース
2年後期までの設計課題に比べて、規模が大きくまたは機能的に複雑な建築の設計課題に取り組み、建築デザインや空間構成能力などの、建築の質に関わる設計能力のさらなる向上を目指す。建築設計を指向する学生に適する。
- Bコース：実務的な設計技術を修得するコース
実施設計図の模写や建設現場の見学などを通じて、基本設計から実施設計への過程を把握させるとともに、建築設計の実務能力を養成する。建築設計や現場監理など、総合的な建築業務を指向する学生に適する。

建築計画コースは、本科目のAコースを必修とする。建築総合コースと建築構造コースは、本科目は選択科目であり、AコースとBコースのどちらかを履修してもよい。

【到達度目標】

1) Aコースの到達度目標：

- ①ヴォリュームの大きな建築の処理能力、②複雑な機能をもつ空間の構成能力、③周辺環境に対応する設計能力、④敷地周辺のさまざまな情報を取得し処理する能力、⑤建築デザイン能力、⑥建築プレゼンテーション能力の向上、等の建築の質に関わる設計能力の向上を目標とする。

2) Bコースの到達度目標：

- ①基本設計から実施設計、設計監理に至る建築設計の実務過程の理解、②基礎伏図や床梁伏図などの建築構造に関する製図技法の修得、③平面詳細図や断面詳細図などの実施設計図の作成能力、④建築法規に関する理解、⑤建築設備に関する理解、⑥実際の建設現場への理解、等の建築の実務に関わる設計能力の向上を目的とする。

【授業計画】

1) Aコースの授業計画：前半と後半で二つの課題を設定する。

第一課題：オフィスビル（高層で規模の大きい建築の設計）

テ ー マ	内 容
① 課題説明。敷地を分析する。	課題説明、その後全員で敷地の調査。
② 類似建築を知り、方針をたてる。	類似建築の発表。計画の基本的方針と平面のブロックプランの提示。
③ 全体のイメージをつかむ。	ラフな平面図の外観イメージ図の提示。
④ イメージを具体化する。	各階平面図と主要立面図の提示。
⑤ 計画を推敲する。	推敲した平面図と立面図・断面図の提示。
⑥ 完成度を高める。	下書き図面の最終チェックと最終提示模型の作成。
⑦ 作品講評会	

第二課題：幼稚園（複雑な機能の建築の設計）

テ ー マ	内 容
⑧ 課題説明。敷地を分析する。	課題説明、その後全員で計画敷地の視察。
⑨ 類似建築を知り、方針をたてる。	類似建築の発表。計画の基本方針と平面のブロックプランの提示。
⑩ 全体のイメージをつかむ。	ラフな平面図とイメージ鳥瞰図の提示。
⑪ イメージを具体化する。	平面図と外観イメージ図の提示。
⑫ 計画を推敲する。	推敲した平面図と立面図・断面図の提示。
⑬ 完成度を高める。	平面図・立面図・断面図の推敲とスタディ模型の提示。
⑭ プレゼンテーションの準備	下書き図面の最終チェックと最終提示模型の作成
⑮ 作品講評会	

2) Bコースの授業計画：前半と後半で二つの課題を設定する。

第一課題：構造図の作成（構造図の構成と内容を理解し習得する）

午前	午後	内 容
① 課題説明	図面作成	鉄筋コンクリートの部材伏図の理解と演習
② 課題説明	図面作成	鉄筋コンクリートの配筋図の理解と演習
③ 鉄骨構造図の説明	図面作成	鉄骨構造図の理解と構造図の演習
④ 実施設計の話	図面作成	実施設計図面の理解と構造図の演習
⑤ 建物見学	課題提出	学内建物見学で、建築材料・納まり・設備の理解と構造図面の理解と構造図面の提出

第二課題：部材詳細図の作成（詳細図に必要な基本的な材料と納まりを理解し習得する）

午前	午後	
⑥ 課題説明	図面作成	開口部分納まりの理解と演習
⑦ 課題説明	図面作成	内装部分納まりの理解と演習
⑧ 建築法規の話し	図面作成	実務設計に必要な建築法規の理解と部分詳細図の演習
⑨ 図面作成	課題提出	部分収まり図の演習と提出

第三課題：階段詳細図の作成（実施設計に不可欠な階段詳細図を理解し取得する）

午前	午後	
⑩ 課題説明	図面作成	階段詳細図の理解と演習
⑪ 工事監理の話し	図面作成	工事監理の理解と階段詳細図の演習
⑫ 図面作成	課題提出	階段詳細図の演習と提出

第四課題：トイレ詳細図の作成（実施設計に不可欠なトイレ詳細図を理解し取得する）

午前	午後	
⑬ 課題説明	図面作成	トイレ詳細図の理解と演習
⑭ 建築設備の話し	図面作成	実務設計に必要な建築設備の理解とトイレ詳細図の演習
⑮ 図面作成	課題提出	トイレ詳細図の演習と提出

【授業方法】

Aコース：学生自身による計画案の作成。それをもとに教員との個別の討議。

Bコース：講義で説明した後、製図室での学生の図面制作を教員が指導。

【学習到達度の評価】

Aコース：①毎回行う学生と教員の個別の協議から、各学生は学習達成度を理解する。

②講評会において、複数の教員の評価を学生に伝える。

Bコース：製図室でおこなう学生の図面作成の過程から判断する。

【評価方法】

Aコース：最終的な計画提案の内容、発表会でのプレゼンテーション、課題を通じての学生の伸び、これらを含めて総合的に評価する。

Bコース：図面提出と締め切りの遵守、および講義の出席状況などを含めて総合的に評価する。

Aコース・Bコース共通：全授業終了後に、学生自身による自己評価を行う。

【関連科目】

3年：地域・都市計画、地域計画設計、建築造形実習

【参考書】

コンパクト建築資料集成（日本建築学会 編、丸善）

その他、学生により個別に教示する。

【履修上の注意】

Aコース：学生と教員との個別の協議と発表会には絶対に欠席しないことが前提である。この科目では、学生自身が意欲的かつ積極的に取り組むことが、特に求められる。

Bコース：絶対に欠席しないこと。まじめに取り組むこと。

【オフィスアワー】

3コマある講義の間の昼休みに、研究室または製図室にて内容に関する質問を受け付ける。